



「あいちの教育に関するアクションプラン」を作りました！

あいちの教育をみんなの手で

アクションプランって何？

今日の教育問題の多くが、子どもだけでなく、親や教員、地域の大人たちにとっての大きな課題であることから、家庭・地域・学校が主役となって教育を進めていくことが大切です。

そこで、愛知県教育委員会では、平成22年度を目標年度として、家庭・地域・学校の取組とそれを支援する県の施策を示した本県初の教育に関するアクションプランを作りました。

あいちの教育の基本理念

「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現

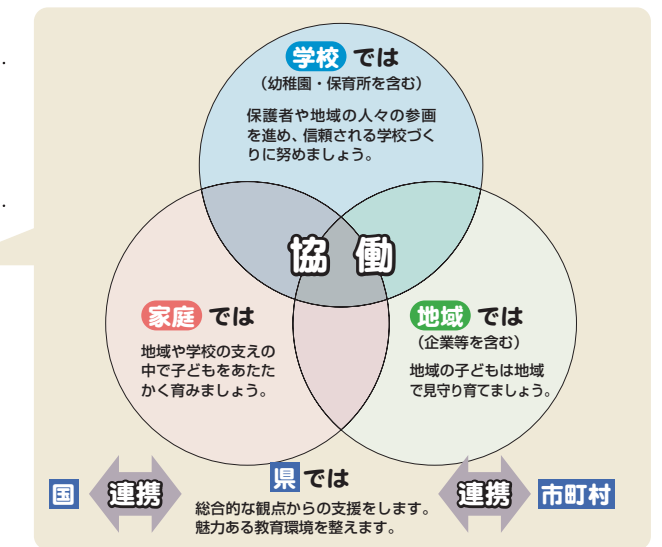
めざす「あいちの人間像」

- かけがえのない自他の命を大切にすることのできる人間
- 自らの人生をたくましく切り拓き、社会に生かすことのできる人間
- 健やかな体をつちかい、豊かな文化を継承し創造することのできる人間
- 次代を展望し、世界に視野を広げ活動することのできる人間

家庭・地域・学校の協働による教育を進めましょう

めざす「あいちの人間像」を実現するために、県は市町村と連携しながら、全力を挙げて取り組めます。しかし、家庭・地域・学校が心をつなげて協力しなければ、教育を取り巻く様々な問題を解決することはできません。人は、最初に出会う「家庭」で生活習慣や善悪の判断などをつちかい、「地域」の中で社会性や他人を思いやる心などを養います。また、「学校」では、確かな学力、豊かな人間性、健康な体を育てます。

家庭・地域・学校それぞれに役割と責任を自覚していただき、県民の皆様一人ひとりが手を取り合って愛知の教育を進めていきましょう。そして、県は、家庭・地域・学校が協力して教育の推進に取り組むことができるよう支援してまいります。



「かけがえのない自他の命を大切にすることのできる人間」を育てるために

愛知県では、自他の命をかけがえのないものとして尊ぶとともに、よい行いに感銘し、間違っただけを正すといった正義感や社会の基本的なモラル、他人を思いやる心、人権を尊重する心、美しいものに感動する心などをもった人間を育てます。

- 取組の柱**
- 道徳性や社会性をつちかう教育
 - 人権教育
 - いじめ・不登校等への対応
 - 安全教育
 - 福祉教育



主にこんな取組をします

- 「命」をテーマにしたフォーラムを開催したり、学校で命を大切にし豊かな心を育む実践活動を支援します。
- いじめや不登校などをなくすため、スクールカウンセラーを全公立中学校と70校の小学校に配置するほか、高等学校にも派遣します。また、24時間いじめ電話相談【0570-0-78310(なやみ言おう)】を行うなど相談活動を一層充実します。
- 学校安全ボランティア(スクールガード)を全小学校に配置します。

「自らの人生をたくましく切り拓き、社会に生かすことのできる人間」を育てるために

愛知県では、子どもたちに自ら学び自ら考える力などの「確かな学力」を育むとともに、自分の将来の生き方を考え、勤労観・職業観や社会性を身に付けた人間を育てます。また、生涯にわたって学び続け、家庭や地域コミュニティ、ボランティア活動など幅広く社会で活動できる人間を育てます。

- 取組の柱**
- 確かな学力の育成
 - 個性を生かし個性を伸ばす教育
 - キャリア教育
 - 特別支援教育
 - 外国人児童生徒等への教育



主にこんな取組をします

- 小学校1年生で実施している少人数学級(35人学級編制)を小学校2年生と中学校1年生に拡大します。
- 勤労観・職業観を養うため、中学生の職場体験学習(「あいち・出会いと体験の道場」)や高校生のインターンシップを充実していきます。
- 岡崎市内にみあい養護学校を新設するなど、知的障害養護学校の過大化解消に取り組めます。また、特別支援教育コーディネーターや特別支援教育指導員を配置し、障害のある子どもたちの教育環境を充実していきます。

「健やかな体をつちかい、豊かな文化を継承し創造することのできる人間」を育てるために

愛知県では、生涯にわたり健康な生活を送るとともに、国や郷土の歴史と文化を正しく理解し、文化遺産の保存継承に努めるとともに、常に新たな文化を創造する心身ともに健やかな、知・徳・体のバランスのとれた人間を育てます。

- 取組の柱**
- 体力づくり・スポーツ
 - 健康教育
 - 食育
 - 文化芸術
 - 読書活動



主にこんな取組をします

- 総合型地域スポーツクラブ、文化芸術団体、大学などとの連携を通じ、運動部活動や文化部活動を充実していきます。
- 我が家の元気な朝ごはんキャンペーンなど、望ましい食習慣の確立に向けた取組を進めます。
- 「あいち子ども芸術大学」や地域でのふれあい芸術体験を開催し、子どもたちが本物の優れた文化芸術に触れる機会を作ります。

「次代を展望し、世界に視野を広げ活動することのできる人間」を育てるために

愛知県では、「新しい時代を切り拓き、世界に視野を広げて活動することのできる个性的で多様な人材の育成」と「変化の激しいこれからの社会を生き抜いていくために必要な資質や能力の育成」という視点に立って、これからの愛知に生きる人間を育てます。

- 取組の柱**
- 国際教育
 - 情報教育
 - 環境学習
 - 産業教育



主にこんな取組をします

- 県立高等学校に外国語指導助手を配置したり、英語の学習コンテンツの開発等を行います。
- 県立学校にコンピュータなど情報機器の整備を進めます。
- あいち環境学習プラザやあいち海上の森センターで環境学習に関する情報の収集、発信や交流事業、学習講座の開催などを行います。
- 総合技術高等学校の設置に向けた準備を進めます。



家庭で 地域で 学校で 宣言します！ 家庭・地域・学校に、特に重点的に取り組んでいただきたいことを「宣言」として掲げました。

家庭 あたたかい親心でわが子のしつけをします。

地域 大人が率先して子どもたちに範を示します。

学校 あらゆる場面で「命を大切に教育」に取り組めます。

家庭 ノーテレビ・ノーゲーム・ノー残業デーで生まれた時間を学習などに生かします。

地域 勤労観・職業観をつちかうため、職場体験活動を支援します。

学校 確かな学力を身に付けさせるため、授業力を向上します。

家庭 朝ごはんは毎日きちんと食べます。

地域 地域のスポーツ・文化活動に積極的に参加します。

学校 地域と連携した部活動や特色を生かした読書活動を充実します。

家庭 愛知万博に学び、環境に配慮した行動に心がけます。

地域 モノづくり愛知の人材育成の実践的な場を提供します。

学校 異文化を理解し、英語を活用する力を育みます。

魅力ある教育環境づくり

「あいちの人間像」に迫る取組を推進するためには、その基盤である教育環境を整えることが大切です。愛知県では、魅力ある教育環境づくりとして、家庭・地域の子育て支援、優れた教職員の確保や学校施設の整備と教育行政推進体制の整備を進めます。

- 家庭・地域の子育て支援
- 開かれた学校づくり
- 教職員の適正配置と資質能力の向上
- 教育施設・環境の整備
- 大学との連携
- 私立学校の振興
- 教育委員会の教育政策立案・推進体制
- 県教育委員会と市町村教育委員会の役割

具体的な目標

目標	指標	現状	平成22年度
いじめのない学校をめざします。	いじめの解消率(いじめ解消数÷いじめ発生数)	88.7%	100%
子どもたちの学習意欲の向上をめざします。	放課後に学習していない児童生徒の割合	小学校6年生 12.3% 中学校3年生 23.3%	0%
子どもたちの望ましい食習慣の定着をめざします。	朝食を欠食している児童生徒の割合	小学生 2.9% 中学生 6.1% 高校生 8.6%	0% 3%以下 5%以下
環境保全への関心の向上をめざします。	むだや廃棄の少ない食づくりを積極的に行っている人の割合	35.5%	50%



詳しくは、愛知県教育委員会のホームページ
<http://www.pref.aichi.jp/0000000650.html>をご覧ください。